



錦江 トピックス

暮らしの情報や、みんなの活躍など、まちの話題をピックアップしてご紹介します。

夢のぼりプロジェクト始動！

5月3日から子供たちの夢を書いたTシャツをこいのぼりに代わりに掲げようと「夢のぼりプロジェクト」と題し、花瀬川の花瀬橋近くに掲げました。

夢のぼりプロジェクトではこいのぼりの代わりに、不要となったTシャツを再利用し、夢や好きな言葉を書いて頂き花瀬川の川幅約60メートルいっばいに飾り付けました。Tシャツには、「看護師になりたい」「クッキー屋さんになりたい」など子供たちの夢や希望が書かれていました。

現在は、花瀬でんしろう館内に展示してあり、今後毎年増やしていき、花瀬川いっばいに子供たちの夢を掲げられればと思います。

故郷への思いを込めて…

5月14日、錦江町田代出身のベティさんが錦江園を慰問されました。

田代馬場自治会の山下敏郎さんが司会進行され、ベティさんは歌に、踊りにトークと入園者を楽しませ、親を想う気持ち、故郷を想う気持ちを話されました。そして、その想いを歌に乗せるベティさんに目を潤ませる方も見られました。

温かい時間が流れた錦江園でした。



人に分かりやすく、はっきりと伝える



5月7日、神川小学校では「アナウンサーの仕事」と題し、MBCアナウンサー岩崎弘志さん、榮徳多賀子さんが出前授業を行いました。人に分かりやすく、はっきりと物事を伝える事が大事と説明され、本の読み方のコツや緊張しないコツなど話されました。6年の坂下楓佳さんは、「アナウンサーには、ニュースから読み聞かせまで色々大事な仕事があると分かった。アナウンサーになりたい。」と話しました。

おいしい新茶。手摘み体験

5月1日、大原小学校では総合的な学習の時間を使い、1年生から6年生まで計18名が、茶摘み体験を行いました。東大原自治会の坂口操さんから、おいしいお茶の摘み方を習い茶摘みを行いました。茶摘みが終わると製茶工場へ見学に行き、製品になるまでを見学しました。6年生の栗脇智成くんは、「今回で6回目。今年は1年生に教えながら行えた。早くおいしい新茶を飲んでみたい。」と話しました。

